

こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

宇佐美 さやか です



日本共産党神奈川区事務所
 横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
 電話：045-491-6843
 FAX：045-491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

全ての根拠を失った IRカジノ誘致計画 ただちに撤回を

古谷議員が予算議案関連質問

2月25日、横浜市会では予算議案関連質問が行われ、日本共産党からは古谷やすひこ議員（鶴見区選出）が登壇しました。新型コロナウイルス感染対策、IR事業の採算性、生活保護の扶養義務問題、公立学校の校則問題、少人数学級の実施について、林文子市長に質問しました。

事業者から財政効果示す 確たる数字なし

古谷議員は、IRカジノの推進派は、今もなお横浜市の経済効果につながると期待を寄せているが、コロナ後のIRカジノ事業の採算性について、追加のRFC（聞き取り）を事業者に求めても、経済効果に関する確たる資料は出なかったのではないかと批判。また、林市長はIRカジノを横浜に導入するのは、今後税収が不足するからだと言いながら、実際どのくらいの経済効果になるのかわからないまま突き進んでいると批判。その上で、市長はコロナ後IRカジノ事業の採算性について数字的根拠を持たずに今まで発言していたということ。それこそ“ばくち”ではないのかと厳しく迫りました。

感染拡大防止の対策こそ

コロナ感染拡大防止の対策については、陽性者が減り始めている今こそ、次の波が来ないような備えが必要だと主張。具体的には、PCR検査数を増やし無症状の感染者を一刻も早く見つけ出し、保護して治療する体制を立て直すことが必要だと求めました。



登壇した古谷議員＝2/25本会議場

投資額減らさないとした事業者もいた PCR検査は時間かかる…市長答弁

林市長は、追加RFCについては一部の事業者からは資料を示されたものの、「現時点では新型コロナウイルス感染症が事業に与える精緻（せいち）な数字を示すことは難しいという回答が多かったため、結果として数字は公表していません」と答え、「IR開業は2025年以降であることを見据え投資の大幅な減額は想定していないとも回答を得ている」と答弁し、あくまで誘致推進する姿勢を示しました。

新型コロナウイルス感染対策については、全PCR検査には、開始から終了までに相当な時間がかかり、感染力のある無症状感染者をつぶさに発見するには難しくこれまで取り組んできた基本的な感染防止対策を徹底していくことが重要であり現実的だと答弁するにとどまりました。

質問と答弁の全文は団ホームページをご覧ください。

オンライン
番組

やっぱり危ない！横浜IRカジノ

～横浜IR基本方針を切る～

党市議団YouTubeチャンネルで放映

出演：鳥畑与一静岡大教授 あらき、古谷、みわ市議

3/13 (土)

午後1時～2時半

